

**小学校国語科、小学校算数科、
中学校国語科、中学校数学科、中学校英語科における
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進**

「深い学び」の実現に向けて～鍵は「見方・考え方」の働きかせ方～

単元や題材を通して、資質・能力を育成していくためには、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現していくことが重要です。

佐賀県教育センタープロジェクト研究では、今年度、「深い学び」に焦点を当て、その実現を図るためのコンテンツを開発します。

各教科等の「深い学び」の鍵となるのが、「見方・考え方」です。習得・活用・探究という学びの過程の中で、教師はどのような働きかけを行うと、児童生徒が「見方・考え方」を働きかせることができるのでしょうか。

各教科のコンテンツにおいて、その具体を示していきます。

「見方・考え方」を働きかせる授業へ～各研究教科からの提案（一例）～

小学校国語科・中学校国語科

小学校算数科・中学校数学科

中学校英語科

「見方・考え方」が働いていない授業



本の紹介文を書きましょう。

言語活動の相手や目的などが漠然としている



今日の授業は、教科書〇ページの問題を解きます。

授業の導入で、事象を数理的に捉える場面が設定されていない



日本のおすすめの観光地を紹介しましょう。

コミュニケーションを行う目的や場面、状況等が漠然としている

「見方・考え方」を働きかせる授業へ



家族が読みたいと思うような本の紹介文を書きましょう。

言語活動の相手や目的を明確にするなど



このクラスのスポーツテストの結果から、どのようなことが考えられますか？

児童生徒が、算数・数学の問題を見いだす場面を設定する
・問題を提示する方法を工夫する
・日常生活や社会の事象を取り扱うなど



伝統文化に興味があるALTに、日本のおすすめの観光地を紹介しましょう。

言語活動におけるコミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確にするなど

小学校国語科

小学校算数科

中学校英語科

中学校国語科

中学校数学科